

すえひろ
末広

てっちょう
鉄腸(1849~1896)



政治小説家。新聞記者。宇和島城下(現、宇和島市)出身。本名は重恭。宇和島藩の藩校・明倫館に学び、後にその教授に登用された。廃藩置県後は県の官吏となるが辞職して上京し、大蔵省十三等出仕となった。しかし翌年、官界に不満を持ったことから辞職して「東京曙新聞」の編集長となり、この年に公布された新聞紙条例を批判した罪で逮捕された。同条例初の違反者となり注目を集め、多くの人に支援を受けた。その後も問題記事による事件を起こしながらも屈することなく自由民権を積極的に唱え、政治運動に奔走するが、糖尿病を患い転地療養を余儀なくされた。その間、小説を通じて民衆の政治意識を高め、自由民権や政党政治を実現しようと、政治小説の執筆を始めた。生涯で20余編を刊行し、特に政治小説『雪中梅』などが広く読まれた。

略歴

| | |
|-----------------|---|
| 嘉永2(1849)年2月21日 | 宇和島城下の笹町において藩士の家に生まれる。 |
| 文久3(1863)年 | 藩校・明倫館に入る。 |
| 明治2(1869)年 | 明倫館の教授となる。 |
| 明治5(1872)年 | 神山県の官吏となる。 |
| 明治6(1873)年 | 退職し、東京に出る。 |
| 明治7(1874)年 | 大蔵省に入るが、すぐに退職 |
| 明治8(1875)年4月 | 東京曙新聞に入社し、編集長となる。 |
| 8月 | 新聞紙条例を批判し、禁錮・罰金刑 |
| 10月 | 朝野新聞に入社し、編集長となる。 |
| 明治9(1876)年2月 | またも問題記事により、禁錮・罰金刑 |
| 明治14(1881)年10月 | 自由党結党とともに入党 |
| 明治16(1883)年 | 自由党を離党 |
| 明治19(1886)年8月 | 代表作『雪中梅』の上編を刊行。11月には下編も刊行 |
| 明治21(1888)年4月 | 欧米の政治事情視察のための外遊に出る。 |
| 明治22(1889)年 | 帰国。外遊の見聞を元に多くの小説を刊行 |
| 明治23(1890)年7月 | 第1回衆議院議員総選挙で当選 |
| 明治27(1894)年9月 | 第4回衆議院議員総選挙で当選 |
| 明治29(1896)年2月5日 | 現職の代議士のまま、舌がんのため48歳で永眠。墓所は宇和島市大超寺奥の大超寺 (写真提供：宇和島市立中央図書館) |

〈関連図書〉

- ・末広鉄腸『雪中梅』 博文堂 1886年
 - ・末広鉄腸『第二帝国議会ノ一大要件』 青木嵩山堂 1891年
 - ・末広鉄腸『失策又失策』 青木嵩山堂 1892年
 - ・末広鉄腸『鉄腸遺稿』 末広重雄 1918年
 - ・昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書 第2巻』 光葉会 1956年
 - ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第11巻 大和田建樹・末広鉄腸・夏目漱石』
愛媛県教育会 1985年
 - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
 - ・『県民メモリアルホール 人物探訪第4集』 愛媛県生涯学習センター 2002年
 - ・真辺美佐『末広鉄腸研究』 梓出版社 2006年
- 〈主な収蔵資料〉…(P219~220, 105~106)